



我が三中

令和4年度

土浦市立土浦第三中学校

(小中一貫校) 学校だより

令和4年5月30日 第2号

文責：福岡信一

6月 飛躍の時・・・

早いもので、7年生が入学してから2ヶ月が過ぎようとしています。新しい友達もでき、放課後の部活動も始まるなど、中学校の生活にも徐々に慣れてきたようです。8・9年生の頑張る姿を追いかけて、土浦第三中学校のよき伝統を受け継いでほしいと思います。

この時期は、気温差が大きく、疲れが出てくる時期でもあります。規則正しい生活を心がけて疲れを溜めないよう、ご家庭のご協力をお願いします。

第73回 市陸上競技大会

4月28日(金)に市陸上競技大会がJ:COMフィールドで行われました。練習の成果を発揮し、素晴らしい結果を残してくれました。結果は、以下の通りです。



結果

男子の部			
種目	学年	名前	順位
1年100m	7年	遠矢 峻吾	2位
共通200m	9年	鈴木 朱太	2位
共通走高跳	9年	小曾納 唯仁	2位
共通走幅跳	9年	小嶋 悠人	2位

女子の部			
種目	学年	名前	順位
共通1500m	8年	中野 くらら	1位 県出場資格獲得
共通100mH	9年	宇都木 弘華	3位
共通走高跳	8年	村中 美桜	2位
共通走幅跳	9年	浅川 みどり	1位 県出場資格獲得
共通砲丸投	8年	池田 実玖	3位

【6月の主な行事】

1日(水)～2日(木)

県南陸上

3日(水) 歯科検診 9年

6日(月) 歯科検診 8年

7日(火) 歯科検診 7年

10日(金) 計画訪問

14日(火)～19日(日)

市総体

22日(水) 内科検診 8年

23日(木)～24日(金)

県南水泳

25日(土)～26日(日)

県通信陸上

27日(月) 委員会

27日(月)～7月3日

県南総体

令和4年度 生徒総会

5月26日（木）に本年度の「生徒総会」をオンライン形式（グーグルミート）で実施いたしました。3つのブースからの説明を切り替えながら、放送するようすはテレビ局のスタジオのようでした。



令和4年度 鈴木 朱太 生徒会長 より

私達生徒会本部は、「自分の個性を活かし、全員が協力し、三中を創る」こと。そして17項目のSDGs「パートナーシップで目標を解決しよう」を目標とします。このSDGsはより生活しやすい、行きたいと思える三中を創っていくために、お互いの協力関係を築く、連携すること、つまり、パートナーシップが大切という考えから選びました。

次に、活動内容としては、体育祭、三中祭などの各行事の準備や運営や皆さんからいただく意見を学校生活に反映していくための目安箱の設置、改革についての会議を行い実行すること、毎週月曜朝の挨拶運動、旗の掲揚などを行っていきます。ここで皆さんにお願いがあります。今年度の生徒会のスローガン「喜紡～みんなの個性で彩る三中～」にもあるように一つ一つの課題に対して私達一人ひとりが取り組み、力を合わせることで、新たな三中を共に創っていくために必要です。ご協力お願いします。

2022年度 生徒会スローガン

喜紡

～皆の個性で彩る三中～

一人ひとりの個性を生かし、生徒全員の足並みをそろえて、皆で創り上げる学校にしたい、仲間とともに成し遂げることの大切さを実感してほしいという想いを込めました。

このスローガンを掲げ、共に喜びを紡ぎながら、希望あふれる三中を創って行きましょう。



先輩たちが今まで創り上げてきた三中の伝統を受け継ぎながら、新たな伝統や道を創り上げていくことへの大切さを実感し、仲間と共に協力し、達成する喜びを紡いでいきたい、という思いを込めて「喜紡」という漢字にしました。

次に、今コロナ禍にあった制限が少しずつ緩和されて、以前のようにマスクをせず、三密を意識せずに生活ができて始めようとしています。学校生活も以前のように過ごすことができたという願いで「希望」という意味も込めました。

最後に、「皆の個性で彩る三中」には、私達一人ひとりの個性を大切に、生徒全員の足並みをそろえて、皆で三中の伝統を創っていききたい、という想いを込めました。 生徒会本部役員

学校長あいさつ（生徒総会） 校長 高田 利信

本年度のスローガン「喜紡」を掲げ、無事生徒総会の全ての議事が承認・可決されたことおめでとうございます。そして、この生徒総会を成功させるために多くのリハーサルを重ねてきたことに敬意を表します。

さて、生徒会とは何でしょうか。人は一人では生きていけないし、二人以上の方がよりよく過ごすには、ルールが必要となり、効率よく過ごすには役割分担をします。その分担が学級であり、学年であり、委員会です。それぞれがSDGsの視点を盛り込み、頼もしく素晴らしい取り組みを示してくれました。

今回の総会で承認した内容については、みなさん一人一人が自覚をし、自分の役割に責任をもって行動していく必要があります。個々の彩りを紡ぎながら、太くて丈夫な“新たな三中”を創ってくれることに期待しています。

